

地域とともにある学校づくり～目指すべき学校運営の在り方

今村 隆信

1 地域との連携による学校づくりの魅力（春日西小学校では・・・）

- 学力の確かな向上（生活リズムの獲得）
- 批判的立場から学校支援者（応援団）への変化
- 地域の組織の充実（地域活性部の新設、予算化）
- 地域での子どもを「お客さん」にしない取組の充実
- 三者の連働によるカリキュラムの開発による教職員の意識の向上（湧き出るアイデア）



役割分担の明確化と「共育」意識の高まり＝まちづくり

2 具体的取組

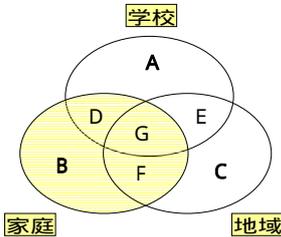
[第1ステージ]平成18・19・20年度

<子育てのねらい>

「自分で考え、行動する子どもの育成」

子育ての「ねらいの共有化」

「学校・家庭・地域の役割分担の明確化」の取組



- ・学校の7つの取組...A
- ・家庭の7つの取組...B
- ・地域の7つの取組...C

「レインボー・プロジェクト」

年2回のアンケート調査

- ・保護者の養育態度について
- ・地域の人々の地域への思い
- ・子どもの地域に対する意識

実働組織

- ・今ある組織を活用

（学校・PTA，地域）

教員の多忙化につながらないような配慮。

保護者と児童の自己評価の実施

取組の成果と課題を学校関係者評価で明確化

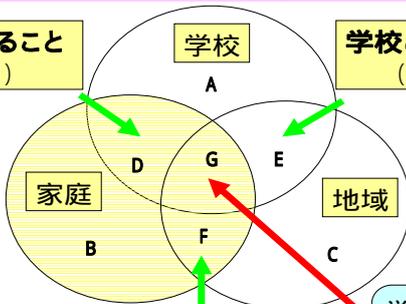
[第2ステージ]平成21年度～

コンビネーション・プロジェクトの実践

～学校・家庭・地域の連働（＝連結・協働）～

学校と家庭ですること
（2者の連働）

学校と地域ですること
（2者の連働）



家庭と地域ですること
（2者の連働）

学校・家庭・地域ですること
（3者の連働）

2者の連働

学校と家庭

メディアとのよりよい関係をつくりながら、家庭学習と読書の習慣をつくろう

学校と地域

西っぴい先生を充実しよう

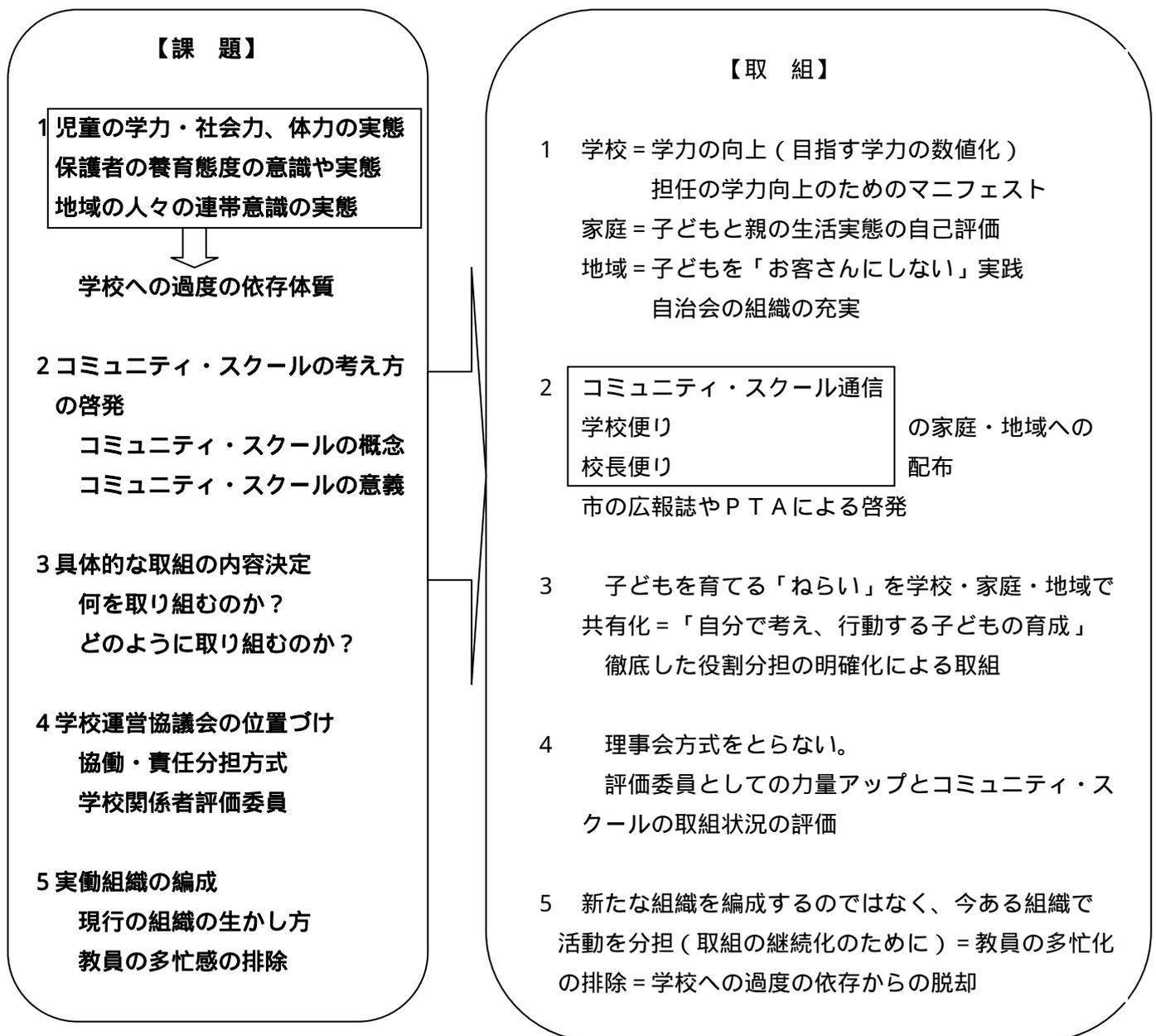
家庭と地域

公民館寺子屋をつくろう

3者の連働

地域を生かす、地域を学ぶ、地域と学ぶ、地域に還元する授業づくり

3 コミュニティ・スクール導入時の課題と解決のための取組



4 校長に求められるマネジメント

(1) 地域の諸会合や行事等への積極的参画

自治会総会でのコミュニティ・スクールの取組の説明

自治会行事等への参加と地域の人々とのコミュニケーションづくり

(2) 機会をとらえた保護者との会話

PTA総会、委員研修会、授業参観・懇談、学校行事等の機会をとらえて、コミュニティスクールの意義や現状、方向性等の説明

(3) アイデアには任せることの大切さ

三者連働カリキュラムの開発における、教職員、保護者、地域の方からのアイデアは、それを大切に任せると、次々と新しいアイデアが生まれてくる。